

歯科医師

第1 現状（これまでの成果）と課題

1 歯科医師数

- 平成 26 年（2014 年）末現在の本県の医療施設従事歯科医師数(総数)は、1,619 人、人口 10 万人当たり 76.8 人であり、全国平均の 81.8 人を下回っています。
- 人口 10 万人当たり病院勤務歯科医師数は、3.3 人、医育機関附属病院勤務歯科医師数は、7.4 人と、全国平均の 2.4 人、7.1 人を上回っています。
- 平成 26 年 12 月末時点の県内の診療科目別歯科医師数は、主たる診療科名では、矯正歯科、歯科口腔外科は全国平均を上回っていますが、複数回答では、全ての診療科目について、全国平均を下回っています。
- 病院勤務歯科医師数は全国平均を上回っていますが、今後の在宅歯科医療の増加による誤嚥性肺炎の防止、摂食嚥下機能の維持向上等に携わる後方支援病院の充実、病院で周術期の口腔機能管理を行うことでの経口摂取による早期退院支援の増加等の観点から、それらに携わる歯科医師を増やす必要があります。

【表 1】業務の種別従事歯科医師数（人口 10 万対）

単位(人)

区分	従事歯科医師数 (総数)	病院の勤務者	医育機関附属 病院勤務者	診療所従事者	介護老人保健 施設従事者
長野県	76.8	3.3	7.4	62.6	0.0
全国	81.8	2.4	7.1	69.9	0.0

(厚生労働省「平成 22 年度医師・歯科医師・薬剤師調査」)

【表 2】診療科目別医療施設従事歯科医師数（人口 10 万対）

単位(人)

区分	診療科名(主たる)				診療科名(複数回答)			
	歯科	矯正 歯科	小児 歯科	歯科口 腔外科	歯科	矯正 歯科	小児 歯科	歯科口 腔外科
長野県	63	3	1.6	3.7	66.3	14.4	28.3	14.6
全国	69.6	2.9	1.6	3.2	72.5	17.6	34.8	22.3

(厚生労働省「平成 22 年度医師・歯科医師・薬剤師調査」)

歯科医師に関する論点

1 専門分野や病院勤務の歯科医師に対する方策

- 今後の在宅歯科医療の増加による誤嚥性肺炎の防止、摂食嚥下機能の維持向上、周術期の口腔機能管理を行うことでの経口摂取による早期退院支援等の観点から、病院に従事する歯科医師の充実が必要ではないか。
 - ・ がん治療等を行っている病院での周術期口腔機能管理体制の整備のための補助
(新規歯科口腔外科の開設、口腔機能管理のための機器購入等)